

Digital Cinema NOW

2022年の展望

178

川上 一郎

さて、先月号¹⁾では全世界の映画興行売上予測や、2019年～2021年での主要各国週間興行売上の比較から、新型コロナウイルスによるパンデミックが映画興行に与えた影響を分析したが、今月号では2022年の展望を紹介する。

表1に示しているのは映画関連の各種統計データを分析しているThe Numbers.com²⁾による2022年度封切り予定作品の一覧である。なお、紹介している作品はワイドリリースと称される数百スクリーン以上での拡大封切りが予定されている作品である。

1月7日公開予定の作品はユニバーサル配給の“The 355”であり、謎の傭兵組織の手に落ちた極秘兵器を奪還するCIA特殊作戦チームの活躍を描くサスペンス映画で、推定製作費は75ミリオンドルである。翌週の1月14日にはGKIDが配給する“Belle”（邦題：竜とそばかすの姫）、パラマウントピクチャーズ配給のホラー映画“Scream”、ワーナーブラザーズ配給の“Sesame Street”も公開される。

1月21日にはルイ14世の婚外子である姫を主人公にしたインディペンデント作品“The King’s Daughter”が公開され、1月28日にはソニー・ピクチャーズ配給のアクションホラー映画である“Morbius”が公開される。

この1月の興行成績が新型コロナ以前である2019年の興行成績と比較してどの程

度回復できるのかが興味深いところである。

先月号の執筆時点では予想もしていなかった新型コロナの変異種オミクロン株が南アフリカで発見され、瞬くうちに全世界の50カ国以上に感染が拡大した。

イギリスは特にオミクロン株の感染拡大が顕著であり医療体制の逼迫から緊急事態宣言が発令され、オランダも1ヶ月間のロックダウンとなった。

欧米諸国ではワクチン摂取率が60%台で頭打ちとなり、宗教上の理由や国家の強制に頭から反対する等の問題から公務員へのワクチン接種強制すらも順調には進んでいない現状である。

年明けにも主要国で治療現場に投入される新型コロナ治療薬が効果を発揮してくれば、流行性インフルエンザと同等の扱いとなることから2022年の夏以降は終息の方向に進むのではとの希望的観測もある。

さて、2月4日にはパラマウント・ピクチャーズ配給の過激コメディイ集団を扱った“Jackass Forever”、そしてトレーラが話題を呼んでいるライオンズゲート配給の“Moonfall”が公開される。“Moonfall”は、突然地球を周回する軌道から月が外れだし、地球に激突する危機が迫ったサイエンスフィクション映画であり、大ヒットする可能性のある作品と言える。

2月11日は、20世紀フォックス配給の名探偵ポアロが活躍する名作“Death on the Nile”、そしてユニバーサル配給が配給するジェニファー・ロペスが主演のミュージカル映画“Marry Me”が公開さ

れ、2月18日にはユナイテッドアーティストが配給する軍用犬と軍用犬ハンドラーとのコメディ映画“Dog”、ソニーピクチャーズエンターテインメントが配給する“Uncharted”が公開され、2月25日にはライオンズゲートが配給する悪魔払いに立ち向かう修道女の物語である“The Devil’s Light”が公開される。

3月4日は、すっかりお馴染みとなったバットマンの最新作がワーナー・ブラザーズから“The Batman”が公開され、3月11日にはホラー映画の“Fear”、ウォルトディズニー配給のアドベンチャーアニメ映画の“Turning Red”が公開される。

3月18日には恋愛映画として定番となってきたダウトン・アビーの続編である“Downton Abbey: A New Era”がフォーカス・フィーチャーズから配給され、STXエンターテインメントからスーパースパイを主人公にしたアクション映画である“Operation Fortune: Ruse de guerre”、ライオンズゲート配給の自閉症の少年を主人公とした家族ドラマの“The Unbreakable Boy”が公開され、3月25日にはジャングルの冒険物語である“The Lost City”がパラマウント・ピクチャーズから公開される。

また、3月末までに公開日時未定であるが“Dear King: 邦題「鹿の王 ユナと約束の旅」”がGKIDS配給で公開予定である。

4月1日にはSTXエンターテインメントが配給する“The Contractor”、ユニバーサルが配給する“Easter Sunday”

表1 2022年米国公開予定作品 (抜粋スクリーン以上の拡大公開作品のみ)

2022年1月		
1月7日	The 355	Universal
1月14日	Belle	GKIDS
	Scream	Paramount Pictures
	Sesame Street	Warner Bros.
1月21日	The King's Daughter	Gravitas Ventures
	Redeeming Love	Universal
1月22日	Morbius	Sony Pictures

2022年2月		
2月4日	Jackass Forever	Paramount Pictures
	Moonfall	Lionsgate
2月11日	Death on the Nile	20th Century Studios
	Marry Me	Universal
2月18日	Dog	United Artists
	Uncharted	Sony Pictures
2月25日	The Devil's Light	Lionsgate

2022年3月		
3月4日	The Batman	Warner Bros.
3月11日	Fear	Hidden Empire Releasing
	Turning Red	Walt Disney
3月18日	Downton Abbey: A New Era	Focus Features
	Operation Fortune: Ruse de guerre	STX Entertainment
	The Unbreakable Boy	Lionsgate
3月25日	The Lost City	Paramount Pictures
	The Deer King	GKIDS

2022年4月		
4月1日	Easter Sunday	Universal
4月8日	Ambulance	Universal
	The Northman	Focus Features
	Sonic the Hedgehog 2	Paramount Pictures
	Untitled Disney Live Action	Walt Disney
4月15日	Fantastic Beasts: The Secrets of Dumbledore	Warner Bros.
	Thirteen Lives	United Artists
4月22日	The Bad Guys	Universal
4月29日	65	Sony Pictures

2022年5月		
5月6日	Doctor Strange in the Multiverse of Madness	Walt Disney
	Mrs. Harris Goes to Paris	Focus Features
5月13日	Untitled Blumhouse Productions Project	Universal
	Untitled Hidden Empire Horror Film	Hidden Empire Releasing
5月20日	DC League of Super Pets	Warner Bros.
5月27日	Bob's Burgers	20th Century Studios
	John Wick 4	Lionsgate
	Top Gun: Maverick	Paramount Pictures

2022年6月		
6月10日	Jurassic World: Dominion	Universal
6月17日	Untitled 20th Century Studios Film	20th Century Studios
	Lightyear	Walt Disney
6月24日	The Black Phone	Universal
	Elvis	Warner Bros.
	Untitled Blumhouse Project	Universal
	Shotgun Wedding	Lionsgate

2022年に公開予定の作品 (公開日未定)		
公開日未定	The Adam Project	Netflix
	Apostles: Resurrection of Christ	Lionsgate
	The Comeback Trail	Cloudburst Entertainment
	The Drummer Boy	Lionsgate
	Influx	Sony Pictures
	Micronauts	Paramount Pictures
	Minecraft	Warner Bros.
	The Nightingale	Sony Pictures
	Sherlock Holmes 3	Warner Bros.
	Shrek 5	Universal
	Surrounded	Lionsgate
	Tomb Raider 2	Warner Bros.
	Untitled Universal Music Event Film	Universal

2022年7月		
7月1日	Minions: The Rise of Gru	Universal
7月8日	Thor: Love and Thunder	Walt Disney
7月15日	Bed Rest	STX Entertainment
	Bullet Train	Sony Pictures
7月22日	Nope	Universal
	Under the Boardwalk	Paramount Pictures
	Where the Crawdads Sing	Sony Pictures
7月29日	Black Adam	Warner Bros.

2022年8月		
8月12日	Bros	Universal
	The Man From Toronto	Sony Pictures
	Secret Headquarters	Paramount Pictures
	Untitled Disney Live Action	Walt Disney
8月19日	Beast	Universal
8月26日	The Bride	Sony Pictures
	Samaritan	United Artists
8月31日	On a Wing and a Prayer	United Artists

2022年9月		
9月9日	Dark Harvest	United Artists
9月16日	Salem's Lot	Warner Bros.
	Distant	Universal
	Untitled 20th Century Studios Film	20th Century Studios
	White Bird: A Wonder Story	Lionsgate
9月23日	The Woman King	Sony Pictures
	Don't Worry, Darling	Warner Bros.
	Puss in Boots: The Last Wish	Universal
9月30日	Untitled 20th Century Studios Film	20th Century Studios
	Mission: Impossible 7	Paramount Pictures

2022年10月		
10月7日	Spider-Man: Into the Spider-Verse 2	Sony Pictures
10月14日	Halloween Ends	Universal
10月21日	Ticket to Paradise	Universal
	Untitled Hidden Empire Thriller	Hidden Empire Releasing

2022年11月		
11月4日	The Flash	Warner Bros.
	Untitled Bee Gees Movie	Paramount Pictures
	Untitled David O. Russell Project	20th Century Studios
11月11日	Black Panther: Wakanda Forever	Walt Disney
11月18日	Lyle, Lyle, Crocodile	Sony Pictures
	She Said	Universal
	Untitled Warner Brothers Event Film	Warner Bros.
11月23日	Creed III	MGM
	The Fabelmans	Universal
	Strange World	Walt Disney

2022年12月		
12月2日	Violent Night	Universal
12月16日	Aquaman and the Lost Kingdom	Warner Bros.
	Avatar 2	20th Century Studios
12月21日	Mario	Universal
	P31	Carl Jackson Entertainment
12月23日	I Wanna Dance With Somebody	Sony Pictures
	Untitled 20th Century Studios Film	20th Century Studios
12月25日	Babylon	Paramount Pictures

引用元 <https://www.the-numbers.com/movies/release-schedule>

が公開され、4月8日にはユニバーサルが救急車を舞台にしたサスペンス映画の“Ambulance”を、フォーカスフィーチャーがバイキングの王子による復讐劇を描いた“The Northman”を、パラマウント・ピクチャーズはアニメ映画の“Sonic the Hedgehog 2”を、題名未定のライブ映画作品をウォルトディズニーが公開予定である。

4月15日はワーナー・ブラザーズがハリポッターの派生作品である“Fantastic Beasts: The Secrets of Dumbledore”を、ユニテッドアーティストは、タイで実際に起きた洪水で洞窟に閉じ込められた12人のサッカーチームの少年救出劇を描いた“Thirteen Lives”が公開され、4月22日にはユニバーサルが五人組が企てる強盗劇を描いた“The Bad Guys”が公開され、4月29日にはソニーピクチャーがサイエンスフィクション映画の“65”を公開する。

日本では映画興行のかき入れ時となる5月のゴールデンシーズンでは、2016年に公開されたドクター・ストレンジの続編となる“Doctor Strange in the Multiverse of Madness”がウォルトディズニー配給で公開され、フォーカス・フューチャーは未亡人女性がディオールのドレスを手に入れるドラマ仕立ての作品である“Mrs. Harris Goes to Paris”を公開する。

5月13日は作品名未定の2作品がユニバーサルとハイデン・エンパイア・リリーシングから公開予定であり、5月20日にはワーナー・ブラザーズ配給のスーパーペットが大活躍する続編の“DC League of Super Pets”が公開され、5月27日には20世紀フォックスがアメリカの国民食といえるバーガーが主人公となるデジタルアニメ映画の“Bob’s Burgers”、ライオンズゲートは凄腕の殺し屋が主人公のシリーズ第4作となる“Jhon Wick 4”、そしてパラマウント・ピクチャーズは公開が延びに延びていた“Top Gun: Maverick”を公開する。

夏期休暇が始まる6月10日にはユニバーサルが恐竜大活躍の最新作“Jurassic World: Dominion”を、タイトル未定であ

るが20世紀フォックスも同日に公開を予定している。

6月17日にはウォルトディズニーがトイストーリーの派生作品である“Lightyear”を公開し、6月24日にはユニバーサルが、公開が順延されていたホラー映画の“The Black Phone”を、ワーナー・ブラザーズは永遠のロックスターであるエルビスプレスリーを描いた“Elvis”を、ユニバーサルはタイトル未定であるがブラムハウス・プロダクションが制作するホラー映画を公開予定である。6月29日にはライオンズゲートがコメディ映画の“Shotgun Wedding”を公開する。

7月1日には人気が定着したミニオンシリーズの最新作“Minions: The Rise of Gru”がユニバーサル配給で公開され、7月8日はシリーズ第4作となる“Thor: Love and Thunder”がウォルトディズニーから公開され、7月15日にはホラー映画の“Bed Rest”がSTXエンターテインメントから、ソニー・ピクチャーズは列車で展開される5人の暗殺者が繰り広げるサスペンスアクション映画の“Bullet Train”を公開する。

7月22日はユニバーサルはホラー映画の“Nope”を、パラマウント・ピクチャーズはミュージカルコメディ映画の“Under the Boardwalk”を、ソニー・ピクチャーズはサスペンス映画の“Where the Crawdads Sing”を公開する。7月29日は、ワーナー・ブラザーズがアクション映画の“Black Adam”を公開する。

夏休みシーズンの最終月となる8月では、8月12日にユニバーサルがロマンチックコメディの“Bros”を、ソニー・ピクチャーズはコメディ映画の“The Man from Toronto”、パラマウント・ピクチャーズはコメディ映画の“Secret Headquarters”、ウォルトディズニーは作品名未定のアクション映画を公開予定である。

8月19日にはユニバーサルがスリラー映画の“Beast”を、8月26日にはソニーピクチャーズがスリラー映画の“The Bride”を、ユニテッドアーティストは8月26日にアクション映画の“Samaritan”を公開し、8月31日には登場している飛

行機のパイロットが急死するなか生き残りをかけて奮闘するアクション映画“On a Wing and a Prayer”を続けて公開する。

9月9日にはユニテッドアーティストがホラー映画“Dark Harvest”を、ワーナー・ブラザーズがバンパイア映画の“Salem’s Lot”を公開する。

9月16日にはユニバーサルの“Distant”、20世紀フォックスのタイトル未定作品、ライオンズゲートの“White Bird: A Wonder Story”、ソニー・ピクチャーズの“The Woman King”と4作品が拡大封切り公開を行うので、果たしてどの作品が週末興行成績第1位を獲得するかが興味深いところである。

9月23日にもワーナー・ブラザーズの“Don’t Worry, Darling”、ユニバーサルの“Puss in Boots: The Last Wish”、そしてタイトル未定作品を20世紀フォックスが公開する。

9月30日には公開が順延となっていた“Mission: Impossible 7”がパラマウント・ピクチャーズから公開され、9月の映画興行市場は面白くなりそうである。

10月7日はソニー・ピクチャーズの稼ぎ頭である“Spider-Man: Into the Spider-Verse 2”が公開され、10月14日はハロウィーンシーズを目前にしてユニバーサルが“Halloween Ends”を、10月21日にはユニバーサルが“Ticket to Paradise”、そしてハイデン・エンパイア・リリーシングがタイトル未定の作品を公開予定である。

11月4日にはワーナー・ブラザーズが“The Flash”、パラマウント・ピクチャーズがビージーズをテーマにした映画を、20世紀フォックスがデイビッド・ラッセルをテーマにした映画を公開する。11月11日はウォルトディズニーがブラックパンサーシリーズの最新作である“Black Panther: Wakanda Forever”を公開し、11月18日にはソニー・ピクチャーズが“Lyle, Lyle, Crocodile”、ユニバーサルが“She Said”、そしてワーナー・ブラザーズが作品名未定のイベント映画を公開する。

11月23日も、MGMが“Creed II”、

ユニバーサルが“The Fabelmans”、そしてウォルトディズニーは“Strange World”を公開する。

12月2日はユニバーサルがスリラー映画“Violent Night”を公開し、12月16日はワーナー・ブラザーズが“Aquaman and the Lost Kingdom”を公開し、そして2022年度最大の話作と言える“Avatar 2”が20世紀スタジオから公開される。

“Avatar”シリーズは2028年までに第5作まで続編制作が発表されており、昨年の日本映画興行業界の救世主となった“鬼滅の刃”現象を巻き起こして一挙に年間興行成績を引き上げてくれるかが注目される。

クリスマスシーズン前となる12月21日は、ユニバーサルがマリオブラザーズの世界を描く“Mario”を、カール・ジャクソン・エンターテインメントがアドベンチャー映画“P31”を公開する。

そして12月23日にはソニー・ピクチャーズがホイットニー・ヒューストンの密着映画となる“I Wanna Dance With Somebody”を公開し、20世紀スタジオもタイトル未定の作品を公開予定である。

クリスマス休暇の終わりとなる12月25日には歴史上の都市であるバビロンを舞台にした“Babylon”が公開される。

さて、今月に入って7,000スクリーンを運営する映画興行チェーンの経営陣が持ち株を売却したことが様々な波紋を呼んでいる。

まず、最高経営責任者が持ち株の90%を売却し、最高経営責任者は保有株全てを売却した。最高経営責任者（CEO）のAron Adamは11月10日に62万5千株を\$40.529で売却し、12月7日には32万5千株を\$30で売却している。合計で3,508万ドルの現金を手にいれており、本人の所有株の90%を売却している。

また、最高経営責任者（CFO）のGoodman Seanは保有株の全てである1万8千316株を\$30.862で売却し56.5万ドルの現金を手にいれている。

図1はAMCの直近3ヶ月間の株価推移であるが、映画館再開後も経営状況が芳しくないことから11月までは\$40平均で

図1 AMCエンターテインメントの3ヶ月間株価推移



推移していた株価も\$30を割り込みだし、二人の経営責任者は役員報酬として手中にしていた自社株を高値で売り抜けた状況である。

AMC株は中国ワンダグループが65%以上保有していた株を投資ファンドから資金を借り入れてワンダグループの持ち株比率を一挙に15%台にまで引き下げた後に、自社株発行を繰り返して大株主の持ち株比率を希釈化して自由な経営が行えるようにしてきた背景がある。また、100株単位での個人投資家が8割を占める特異な状況となっており、どこかの企業が投資ファンドを使用して公開買い付けを行い安い状況であることから、年明けにもAMC経営陣が全員交代して新規事業体系となる可能性が高くなってきたと、筆者は感じている。

さて、ニューヨークタイムスに気にかかる記事が掲載された。ブルックス・バーンズ氏による解析では、新型コロナによるパンデミック発生前の映画ファンの約49%はもはや映画館のチケットを購入してい

ない、との衝撃的な内容であった。これは、先月号の記事でも紹介しているように2019年の興行成績に対して米国市場では約50%にまでしか回復していなことにくわえて、ストリームサービスの拡大が背景にあることから当然の結果であり、年明けの3月に発表される米国映画制作者連盟の映画市場解析レポートで詳細は報告されるが、映画業界は危機が迫っているとの強い認識が必要であると記事は述べている。

2022年の映画興行市場が2019年の市場規模に比べて6割～7割程度までしか回復しないようであれば、以前のような市場規模に戻るのには2024年以降となりそうであるが、新型コロナに新たな変異株発生が散発的に続くようであれば映画興行市場は厳冬期が続きそうである。

Ichiro Kawakami
デジタル・ルック・ラボ

引用文献

- ・“映画興行の現状”、ユニワールド社、月刊FDI2021年12月号、P.16-19
- ・引用元 :<https://www.the-numbers.com/movies/release-schedule>
- ・“CEO And CFO Dumping AMC Shares Means Apes Have ‘Lost Plot’”, Dec.10,2021 9:56 AM ET, Seeking Alpha Market Place, Written by ASB Capital
- ・<https://www.nytimes.com/2021/11/29/business/movie-theater-attendance.html>